



日本ブルキナファソ友好協会は、西アフリカの内陸国「ブルキナファソ」の農村地域において、教育、医療、保健衛生、農業など幅広い分野で農村開発プロジェクトを展開しており、その活動は内外共に高く評価されています。

また、両国間で唯一の友好協会でもあり、日本とブルキナファソの架け橋になるよう1995年より活動しています。

認定NPO法人

日本ブルキナファソ友好協会

<認定NPO法人>

運営組織及び事業活動が適正であることから、2003年6月に全国で13番目の「認定NPO法人」として認定されています。日本ブルキナファソ友好協会への寄付金は、寄付金控除・損金算入・相続税控除等の対象になります。個人の寄付金控除は、寄付金の約50%が所得税から差し引かれることとなります。

## ブルキナファソでの主な活動 …… 同じ地球の仲間として！



### 公立小学校の建設

300人収容できる小学校を10校舎建設。また、女性の識字教室、児童の復習教室のため、建設した校舎にソーラーシステムによる夜間照明を配備している。



### ポンプ式深井戸の設置

安全な水を供給するため、41基のポンプ式深井戸を設置。また、ソーラーシステムによる給水塔を設置し水道の配備、壊れてしまった井戸の修復にも力を入れている。

その他、JBFAでは、ネリカ米の稲作指導(6ヶ村)、診療所の建設(6ヶ村)、保健衛生教育の実施(9ヶ村)、脱穀・製粉施設の建設(2ヶ村)、リサイクル援助物資の供与(救急車など車両7台、学校用机&椅子5,200セットなど)、スポーツシューズ4,300足の寄贈などの援助実績がある。

## 個人スタディツアーの募集 (通年)

「将来は国際協力にかかわる仕事をしたい」、「アフリカには行ってみたいけれど一人でいきなり行くのはちょっと…」、そんな方にぴったりのプログラムをJBFAではご用意しています。貧困、エイズ、紛争など、様々な問題が山積するアフリカ、国際協力を志す人にとってアフリカでの経験は貴重な財産となることでしょう。その一方で、音楽、ダンス、陽気な人々…一度その地を訪れると「とりこ」になる、そんな魅力がアフリカにはあります。西アフリカの内陸国ブルキナファソは「もてなしの国」と言われ、紛争もなくのんびりとした国です。最初にアフリカの地を訪れるには最適の国と言えるでしょう。

「個人スタディツアー」は、現地の国際機関、NGOの訪問、JBFAのプロジェクト地などを見学し、現地の生活を体験することを目的としており、NGOの「現場」を実際に体験できる、貴重な機会となると思います。この経験が、今後国際機関やNGOに関わっていくきっかけとなることを願います。

また、現地ではJBFAのスタッフがお手伝いいたしますので、安心して参加できます。ぜひ、あなたも「アフリカ」を体感・体験してみませんか？

